

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句  
令和元年九月度 入選句（投稿総数二千三百二十二句・小中学投句数千六百十三句）

特選

こい麦茶きよねんと同じ母のあじ 大垣市

臼井 莘実(小六)

暑かつた夏。一日に何度もお茶を口にしたことでしよう。その麦茶を口にした瞬間、「去年お母さんが作って下さった麦茶と同じ味だ」と感じた作者の感じ方がいいですね。俳句は、「目・耳・口・鼻・手」すなわち「五感」を働かせて作る」とが大事と言われていますが、まさに「口」で感じたことをズバリ言いきっています。そのことからお母さんへの思いが読者にも伝わってくる俳句です。

エアコンがまいにちおくちあけている 大垣市

近藤 槟乃(小二)

今年の夏は本当に暑かつたですね。テレビでも毎日、いろいろな地域の温度を報道し、「部屋を涼しくしてください。」などと呼びかけていましたね。本当にエアコンなしでは過ごせない毎日でした。そのエアコンをつけ、動いている様子を「おくちあけている」と楽しい言い方をしているところがいいですね。

こんな俳句を読むと「なるほど、そのとおり」と思って、しばらくは暑さも感じかへったような気になります。

友達とかかとそろえてぼんおどり 大垣市

鈴木 香帆(小六)

夏の楽しみ、「ぼんおどり」を友達といっしょにしたのですね。普通ぼんおどりは、まずは、手ぶり、身振りを揃えることに気を使いますが、「かかとそろえて」というと、ろに目を向けること、とても大事なことですね。夏の一夜、友だちとかかとをそろえて「ぼんおどり」を楽しまれた様子が目に浮かびます。

秀逸

ひまわりが負けず輝く太陽に 大垣市

川瀬 里茉(中二)

ひまわりとたいよういつしょにわらつてる 大垣市

桐生 結衣(小三)

むすびの地ぼうしの裏まで青葉風 大垣市

稻葉 蒼大郎(小六)

いねかりをまつて いるいなほおじぎする 大垣市

渡部 結良(小二)

猫じやらし風といっしょにおどつてる 大垣市

河本 珠璃(小六)

かたつむりがんばり屋だねはやくなれ 大垣市

古田 健真(小三)

あきかぜはいろんなたねのはこびやさん 大垣市

広せ そう一ろう(小四)

はかまいり元気にしてるおばあちゃん 大垣市

野村 陽向(小五)

運動会気持ちをつなぐバトン持つ 大垣市

小田切 亜実(小五)

令和初最後の一発 大花火 大垣市

酒本 峻太郎(小六)

入選

秋風が私の顔をこしょぐるよ  
つばめさん昼間はどこに行つてゐるの  
おつきさまくもにかくれてかくれんぼ  
川にあるメダカの学校夏休み  
エラーして見上げる空にいわしぐも  
赤とんぼ仲間とひそほはなしてゐる  
運動会新品のくつどろまみれ  
墓参り迎えに来たよおばあちゃん  
鰯雲友と歩いた帰り道  
蝉たちが木にはりついてないでいる

大垣市  
大垣市  
大垣市  
大垣市  
大垣市  
大垣市  
大垣市  
大垣市  
大垣市

安田智香(小六)  
木下ゆう花(小三)  
加代幸汰(小四)  
宮部凜成(小四)  
まぶちけいご(小五)  
服部瑠花(小五)  
高橋梨里(小五)  
岡田真依(小六)  
遠藤煌希(小六)

太陽があせかく私を笑つてゐる  
梅雨の日も私の心はいつも晴れ  
青葉風ほんのりかおる葉のにおい  
セミたちのミンミン電話ききたいな  
ぼくだつて魚みたいだながれるプール  
赤とんぼ大きなめがねおしゃれさん  
せんせいにあえたようれしい二学きだ  
夕ぐれに花火とえがおはじけたよ  
しきようしきとんぼといつしょに下校する  
かくれんぼしてみたくなるにわもみじ

大垣市  
大垣市  
大垣市  
大垣市  
大垣市  
大垣市  
大垣市  
大垣市  
大垣市

高橋凪咲(小四)  
島原紗菜(小六)  
田代夏美(小六)  
酒井遙希(小六)  
佐竹詠宇(小二)  
吉國友菜(小二)  
かめ田しんじ(小二)  
田代友理(小二)  
しみずかな(小二)  
渡部航(小三)